

第5回生体恒常性とストレス応答セミナー

低酸素応答システムによる幹細胞 性と代謝恒常性の維持

慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念講座 発生・分化生物学教室
田久保 圭誉 先生

日時:2010年11月24日(水)

18:00~19:00

場所:山口大学医学部 霜仁会館3階

田久保 先生は、幹細胞 (stem cell)を維持する微小環境についての研究を精力的に進めている慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念講座 発生・分化生物学教室(須田 年生 教授の研究室)の助教として、造血幹細胞と生殖幹細胞をモデルとして多くの研究成果を挙げられています。特に、低酸素環境下において幹細胞の特性(自己複製能、多分化能、細胞周期の静止期)が維持されるメカニズムについて、低酸素応答系に焦点をあてた解析を行い、世界から注目される興味深い知見を報告しております [Cell Stem Cell 7:391-402, 2010]。本セミナーでは、癌をはじめとした種々の難治性疾患の病態、再生医療戦略の根幹をなす幹細胞の維持機構とその人為的操作法について、最新の研究成果を含めご講演いただけます。

幹細胞生物学の基礎から最新知見まで、大変勉強になると思います。
医学部学生・大学院生を含め、多数のご来場をお待ちしております。

主催:山口大学研究推進体「ストレス」

問い合わせ先:病理形態学分野(旧病理学第一講座) 池田 栄二
(2218)